

👑「雪対策功労賞」受賞

青根温泉雪あかり

実施機関: 青根観光事業協同組合
県名: 宮城県

■選定理由

仙台藩の御殿湯として1528年に開湯した青根温泉は、川崎町の中でも降雪量が際だって多い土地柄です。『青根温泉雪あかり』は、雪で作った灯籠にロウソクで灯りをともし、それを肴に酒を飲むという、地元住民の酒宴の席での演出がきっかけとなり始まり、温泉街という土地の特性もあって広まったイベントです。宿泊客の評判により徐々に活動が広まり、現在では3日間で3000人の来場者を迎える青根温泉の冬の風物詩となっています。

メイン会場では、地域住民や柴田農林高等学校川崎校の生徒などのボランティアが協力して灯籠を作成します。また、町の公衆浴場「じゃっまの湯」の野外ステージでは、郷土芸能や打ち上げ花火などを披露し、厳しい冬の季節に「ふと心温まる時間」を演出します。

昨年からは「国営みちのく杜の湖畔公園」などの施設と連携し「宮城かわさき雪まつり」として、その活動が地域全体に広がっています。このように、周辺地域が一体となってイベントに取り組んでいる点が高く評価されました。



↑「青根温泉雪あかり」のメイン会場の風景、幻想的な空間が広がる